

# 流域タイムラインの概要及び運用実績

- 千曲川流域に着目した「千曲川・犀川流域(緊急対応)タイムライン」を、令和2年9月より試験運用を開始
- 流域タイムラインを円滑に運営するためのツール「情報共有プラットフォーム」を開設し、各機関の状況を共有
- 構成機関が一堂に会した「運用会議」を開催し、流域全体で危機感を共有し早期の対応を実施できる体制を構築

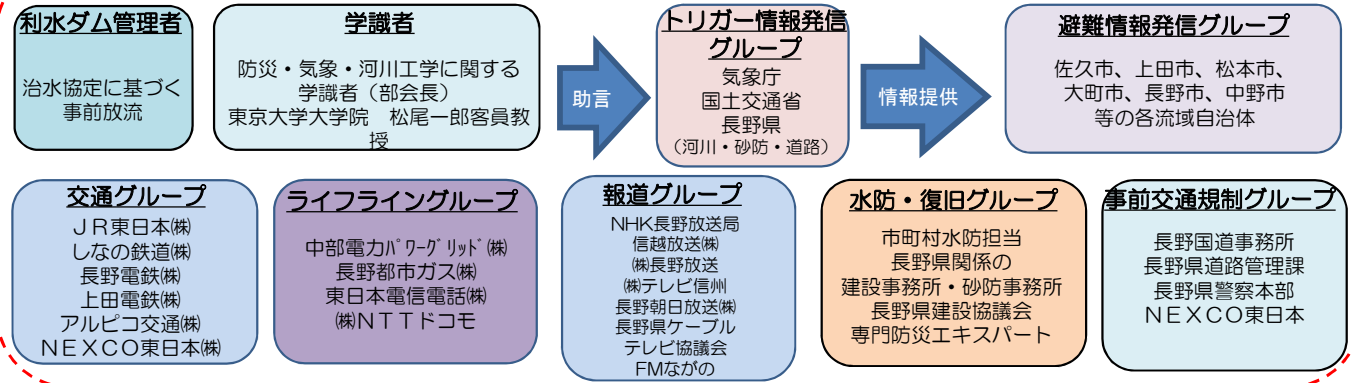
## 【運用会議実施状況】※令5年4月現在

令和2年度: 2回  
令和3年度: 7回  
令和4年度: 4回 **計13回**

(代表例) 令和3年8月出水(前線性降雨)

- ①8月12日 流域警戒ステージⅡに移行を決定
- ②8月13日 流域警戒ステージⅢに移行を決定
- ③8月16日 翌17日からの再度の大雨に対する危機感共有
- ④8月17日 降雨状況・見込みの共有

## 運用会議(TV会議)千曲川河川事務所・長野県危機管理防災課主催



## 流域警戒ステージの区分・目標

時期区分	防災行動の目標
流域警戒ステージⅠ	災害の危険性に注意を向ける
流域警戒ステージⅡ	防災対応の方針を決定する
流域警戒ステージⅢ	防災対応を開始する
流域警戒ステージⅣ	上下流を意識した防災対応を実施する

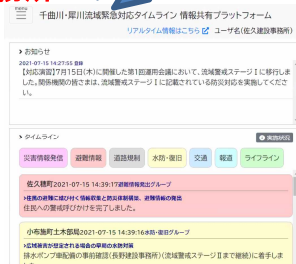


WEB  
会議



千曲川河川事務所

各構成機関



千曲川・犀川流域緊急対応タイムライン  
情報共有プラットフォーム

○情報共有プラットフォームの円滑活用のための洪水対応演習を実施

### 【構成機関からの意見】

- ・他機関の状況を確認でき、かつ自機関の行動も伝えられる有効なツール
- ・実災害前の流域警戒ステージⅠ～Ⅲの時に、情報を共有できてよい。
- ・定期的な演習を行い、出水期に備えられるようにしてほしい。

# 運用基準の見直し案

## 現行基準

時期区分	タイミング
流域警戒 ステージⅠ	<ul style="list-style-type: none"> <li>■台風 事務局で設定する台風警戒区域に台風5～3日先予報円の一部が含まれ、かつ早期注意情報(警報級の可能性)「中」以上が発表された時</li> <li>■前線 梅雨入り後、早期注意情報(警報級の可能性)「中」以上が発表された時</li> <li>■台風・前線共通 学識者からの助言があった場合</li> </ul>
流域警戒 ステージⅡ	<ul style="list-style-type: none"> <li>■台風 台風説明会が開催された時、かつ、府県気象情報「長野県気象情報」(北部・中部)で48時間以内に多い所で150mm程度の雨量が予想された時</li> <li>■前線 大雨説明会が開催された時、かつ、府県気象情報「長野県気象情報」で48時間以内に多い所で150mm程度の雨量が予想された時</li> <li>■台風・前線共通 学識者からの助言があった場合</li> </ul>
流域警戒 ステージⅢ	MSM39時間先流域平均雨量予測を基に流域において洪水氾濫が発生するおそれがある雨量が予想された時、または、学識者からの助言があった場合
流域警戒 ステージⅣ	上流域等で水防団待機水位に到達した時

## 改正基準案 (赤字箇所を追記)

時期区分	タイミング
流域警戒 ステージⅠ (概ね 3～5日前)	<ul style="list-style-type: none"> <li>■台風 事務局で設定する台風警戒区域に台風5～3日先予報円の一部が含まれ、かつ早期注意情報(警報級の可能性)「中」以上が発表された時。</li> <li>■前線 梅雨入り後、早期注意情報(警報級の可能性)「中」以上が発表された時</li> <li>■台風・前線共通 学識者からの助言があった場合、または調整会議により運用会議の開催が必要と判断された時</li> </ul>
流域警戒 ステージⅡ (概ね 2日前)	<ul style="list-style-type: none"> <li>■台風 台風説明会が開催された時、かつ、府県気象情報「長野県気象情報」(北部・中部)で48時間以内に多い所で150mm程度の雨量が予想された時</li> <li>■前線 大雨説明会が開催された時、かつ、府県気象情報「長野県気象情報」で48時間以内に多い所で150mm程度の雨量が予想された時</li> <li>■台風・前線共通 学識者からの助言があった場合、または調整会議により運用会議の開催が必要と判断された時</li> </ul>
流域警戒 ステージⅢ (概ね 1日前)	MSM39時間先流域平均雨量予測を基に流域において洪水氾濫が発生するおそれがある雨量が予想された時、または、学識者からの助言があった場合、及び調整会議により運用会議の開催が必要と判断された時
流域警戒 ステージⅣ	上流域等で水防団待機水位に到達した時

※場合によっては、流域警戒ステージⅡ以上からのタイムライン発動があることに留意

※土休日に運用会議を開催する場合、メールにてステージ移行を連絡することがある

# 危機感共有のあり方について

- 特に中小規模出水においては、土休日にかかる流域タイムライン運用会議への参加・運営の負担を懸念
- “メリハリ”のあるタイムライン運用により危機感共有のビルドアップを図る

## ■課題

- ・令和4年台風第15号時運用会議(R4.9.23祝日) 参加機関 29/93機関 ※平日開催平均(R4) 56/93機関  
→当日(祝日)に運用会議開催旨連絡したところ、参加機関は、平日比較で**51%**
- ・中小規模、大規模出水問わず、レベル感の変わらない運用では、危機感が適切に伝わらないおそれ

## ■対応案

- ・土休日に1回目の運用会議となる場合、金曜日までに運用会議開催の旨連絡
- ・土休日に2回目(ステージⅡに限る)の運用会議となる場合、1回目運用会議時に、メール施行とする旨事前連絡

◎大規模出水が想定される場合は、Web会議を敢行。より強いメッセージとし“メリハリ”を意識

## 想定される効果

- 想定される出水規模に基づき、メリハリの効いた運用をすることで、より効果的な危機感の共有が可能
- メール施行とすることを許容することで、参加者・運営サイドの負担も軽減

## 事務局からのお願い

- 通常時用、土休日用で受信可能な連絡先をお聞きしているところ
    - 人事異動等による連絡先変更の有無
- 見直しの必要があれば、事務局までお知らせいただきたい